

<b>授業科目名</b>	現代教育課題 B (特別支援) (2100203)		
<b>時間割名</b>	現代教育課題 B (特別支援) (21113)		
<b>時間割担当</b>	矢野正		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	火・1		

### 授業の目標・概要

特別支援教育とは、障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、個別の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。平成19年4月から学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障害のある幼児児童生徒の支援をさらに充実していくこととなった「特別支援教育」の基礎的な知識、方法、事例研究について学ぶとともに、全ての人の多様な可能性にひらかれた「学びのユニバーサルデザイン」の重要性について言及する。

### 学習の到達目標

1. 障がいについての理解を深める。
2. 障がいのある人への教育のあり方を理解する。
3. 特別支援教育と社会福祉との関連性を理解する。

### 授業方法・形式

1. 配布レジュメ・テキストに沿って、講義を進める。
2. 講義では、個人ワーク、グループワークを多く取り入れる。
3. 自分の考えを発表する機会を設ける。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション、障がいとは？
- 第2回 障がい受容
- 第3回 障がいのある人への差別
- 第4回 障がいのある人への差別
- 第5回 特別支援教育の制度
- 第6回 通常学級における支援の実例
- 第7回 障がいへの理解 知的障害・肢体不自由・病弱
- 第8回 障がいへの理解 視覚障害・聴覚障害・重複障害
- 第9回 障がいへの理解 発達障害・言語障害・情緒障害・自閉症
- 第10回 特別支援教育コーディネーターによる支援
- 第11回 特別支援教育コーディネーターによる支援
- 第12回 特別支援教育コーディネーターによる支援
- 第13回 特別支援教育と社会福祉
- 第14回 特別支援教育と社会福祉
- 第15回 まとめと到達度確認授業

### 成績評価の基準

1. 授業への取り組み (30%)  
個人ワーク、グループワークに対する態度、ワークシートの内容で評価する。
2. 到達度確認 (70%)  
授業内で配布したレジュメから、語句説明問題、論述問題を出题する。

### 準備学習・復習及び授

障がいのある人の生活に触れるとともに、日頃からそういった新聞記事や雑誌などに関心を寄せておくこと。障がい児・者理解教育などの研修会や研究会に参加できると望ましい。

### 履修上のアドバイス及

講義中の私語・飲食・携帯電話の使用を禁止する。20分以降の遅刻は認めない。違反する者、他者に迷惑をかける言動をする者には退出を命ずることがある。資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに出席した学生などから資料をコピーさせてもらうこと。

### 教材・教科書

小川圭子・矢野正「保育実践にいかす障がい児の理解と支援」嵯峨野書院  
文部科学省「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」

### 参考書

青木豊・藤田久美「コンパクト版 保育者養成シリーズ[新版]障害児保育」一藝社  
保育福祉小六法編集委員会「保育福祉小六法2018年版」株式会社みらい  
日野原重明・間野忠明「医療福祉学総論」金芳堂  
守屋國光「特別支援教育総論」風間書房  
その他に、授業時に適宜指示する。